

一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）主催

第44回全国夏期セミナー沖縄大会



いま沖縄で考えよう！ 平和をつくるための包括的性教育

2025年 8月2日 土 ・ 3日 日

沖縄県男女共同参画センターているる・沖縄県市町村自治会館
(現地会場参加とZoom配信のハイブリッド形式)

実行委員会

杉田真衣（実行委員長，性教協幹事）／嘉陽真美（現地実行委員長，沖縄性教協）／青野真澄（副実行委員長，性教協幹事）／関口久志（副実行委員長，性教協幹事）／船越裕輝（現地事務局長，沖縄性教協）

後援

沖縄県／沖縄タイムス社／琉球新報社／沖縄県助産師会／沖縄県保育士・保育教諭会／沖縄県私立保育園連盟／NPO法人 沖縄県学童・保育支援センター／きょうされん沖縄支部／沖縄県民間教育研究所／一般社団法人 ある／沖縄県教職員組合／沖縄県高等学校障害児学校教職員組合／一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会／一般社団法人 日本家族計画協会／NPO法人 ピルコン／公益財団法人 ジョイセフ

台風等によって完全オンライン開催に変更する可能性があります。
変更の判断は7月30日(水)までに行い、その後peatixから一斉送信でお知らせします。
なお、飛行機代やホテル代のキャンセル料については自己負担となります。
あらかじめツアーキャンセル保険等をお調べいただくことをおすすめします。

いま沖縄で考えよう！ 平和をつくるための包括的性教育

2025年の夏期セミナーは、44回目にして初めて沖縄で開催します。オンライン参加もいいですが、できればこの機に、対面参加をして平和と包括的性教育の重要性を学び合いましょう。

沖縄は、一般的には癒しの南国リゾートとしてのイメージが強いですが、しかし、戦後の大戦で、住民を巻き込んだ悲惨な地上戦を経験し、死者総数約20万人、うち県住民は約12万人（4人に1人）が犠牲になり、戦争孤児など身寄りのない者が急増し、困窮をもたらしました。

戦後も1972年の「本土復帰」まで米統治下におかれ、本土では減少した米軍基地が7割も集中して、米兵と米軍属による性暴力加害など凶悪事件や事故が続発しています。

そして、今、国際情勢の不安に乗じた日米共同の大軍拡路線は「新しい戦前」と憂慮されています。その中で、沖縄を含む南西諸島は、「台湾有事」の軍事要塞化されつつあり、再びの戦災不安にさらされています。

包括的性教育は、からだの権利、個人の尊厳として「性的自己決定権」を尊重しています。それは平和な環境でこそ保障されます。いまこそ戦争ではなく「平和の準備」のとき、沖縄で平和の途を拓く性教育を共に学びましょう。みなさまの参加をお待ちしております。

日 程 2025年8月2日(土)、3日(日)

会 場 沖縄県男女共同参画センターているる（1日目）

（〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1）

沖縄県市町村自治会館（2日目）

（〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37）

参加費

	2日間	1日のみ
一般	6,500円	3,500円
全国会員	5,500円	3,000円
学生／ユース (30歳未満の方)	一般：1,500円 全国会員：1,000円	一般：1,500円 全国会員：1,000円
中高生	500円	500円
障がい者	会員・一般：1,500円	会員・一般：1,000円

ロゴコンセプト

米軍、自衛隊などの軍事化をはじめとする様々な問題が山積する沖縄。ガジュマルに住む妖怪「キジムナー」が、沖縄から平和とともに、包括的性教育を全国・全世界へと発信する大会をイメージしています。

8/2 土

タイムテーブル

沖縄県男女共同参画センターていりる / Zoom配信

時間	内 容
11:00	受付開始
11:45~12:00	開会挨拶 夏期セミナー実行委員長 杉田 真衣 現地実行委員長 嘉陽 真美
12:00~12:30	基調報告 性教協幹事・夏期セミナー副実行委員長 関口 久志
12:40~14:10	<p>記念講演 齊加 尚代 さん</p> <p>テーマ 性教育バッシングが始まりだった！ 愛国と教育危機のつながりを沖縄から考える</p> <p>【プロフィール】1987年毎日放送入社。報道記者などを 経てドキュメンタリー番組『映像』シリーズを多数制作、 定年退社で2025年2月からフリーに。企画・担当した主な 番組に『映像'17沖縄 さまよう木霊—基地反対運動の素 顔』（2017年1月、平成29年民間放送連盟賞テレビ報道 部門優秀賞ほか）『映像'17教育と愛国—教科書でいま何 が起きているのか』（2017年7月、第55回ギャラクシー 賞テレビ部門大賞ほか）。同作品に追加取材、再構成して 2022年に公開した映画『教育と愛国』は日本ジャーナリ スト会議（JCJ）大賞を受賞。他に個人として「放送ウー マン賞2018」、日本外国特派員協会「報道の自由賞」 （2023年）を受賞。著書『教育と愛国—誰が教室を窒息させるのか』（岩波書店）、 『何が記者を殺すのか 大阪発ドキュメンタリーの現場から』（集英社新書）。</p> 
14:25~15:55	<p>理論講座 浅井 春夫 さん（性教協代表幹事・立教大学名誉教授）</p> <p>テーマ 沖縄の地に足をつけて 包括的性教育を展望する ～平和の探求，人権の尊重，社会運動の創造を考える～</p> <p>日本のなかの沖縄をめぐる戦後政治は一貫して“沖縄の透明化”政策が続いてきました。沖縄の歴史と現実が私たちに問いかけていることを踏まえて、①平和をつくる包括的性教育の課題とは何か、②人権をベースにした性教育実践のあり方とは何かを探求し、③そのうえでどのような研究運動のあり方が問われているのか、具体的な性教育の課題を提起してみたいと考えています。性教協のみなさんがこれまで各地で培ってきた実践的研究的蓄積を共有するとともに、これからの性教育実践の展望を考えてみたいと思います。包括的性教育はチャレンジし続ける教育実践であることに私自身が挑戦いたします。</p>
16:10~17:40	<p>シンポジウム</p> <p>テーマ 包括的性教育の保障において —人権と平和の現在地から</p> <p>2023年12月に沖縄県中部で米空軍兵による16歳未満の少女に対する性的暴行事件が起きました。それが翌年6月になって発覚し、12月の判決公判で懲役5年の実刑判決となりました。高里鈴代さんら基地・軍隊を許さない行動する女たちの会によって作成された『沖縄・米兵による女性への性犯罪（1945年4月～2021年12月）第13版』をみると、性犯罪が繰り返されてきたことがわかります。高里さんは沖縄の性暴力問題に長く取り組んでこられました。安里さんは27年にわたって沖縄の障がい児教育に関わるなか、性教育に取り組んでおられます。ここでは人権と平和の現在地をみつめ、包括的性教育の保障のために何ができるのか、語り合いたいと思います。</p> <p>スピーカー 高里鈴代さん（「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」共同代表・元「強姦救援センター・沖縄」代表） 安里瑞穂さん（沖縄性教協・障害児・者サークル・特別支援学校教員）</p> <p>コーディネーター 良 香織さん（性教協幹事・宇都宮大学教員）</p>

8/3 日 タイムテーブル

沖縄県市町村自治会館 / Zoom配信

時間	内容
9:30~10:00	受付開始
10:00~12:45	【午前の部】模擬授業1 / 分科会1~3
12:45~13:45	休憩
13:45~16:30	【午後の部】模擬授業2・3 / 分科会4・5
16:45~17:10	閉会行事 ・2日間のまとめ 実行委員会から ・2026年「第45回全国夏期セミナー長野大会 in 松本」実行委員会から

午 前 の 部 【10:00~12:45】



対面



ハイブリッド

▼①形式 ②対象 ③サークル ④発表者 ⑤司会 ⑥コーディネーター

①	②	③	④・⑤・⑥	内容
模擬授業1	小学生	島根まつえサークル	④長谷川まき子 ⑤野津陽子 ⑥菊池準子 	みんなで学ぼう！からだの権利 小学6年生と、子どもの権利条約のワークを通して権利に気づき、日常の場面から自分のからだの権利を守るためにできることを考える時間として実践してきました。まず自分で考える、そしていつもの仲間と話し合うことで、関わりの中に権利があることも学んできた授業を紹介します。
分科会1	全世代	助産師サークル	④安藤由美子 ⑤古澤さや夏 ⑥櫻井裕子 	沖縄美ら海ユースクリニックの活動から考える若者支援の展望 スウェーデン発祥の「ユースクリニック」は、若い世代が性や体の悩みなどについて相談できる場所です。日本でも広がり始め、2023年に沖縄県でも立ち上がりました。ユースクリニック相談員の立場から見えてきた沖縄地域の特性、活動内容や相談員の役割、今後の若者支援の展望について共有したいと思います。
分科会2	幼〜高校生	全国児童養護施設サークル	④山口修平 ⑤佐々木玄 ⑥金子由美子 	虐待を受けた子どもへの包括的性教育 児童養護施設では、様々な虐待を受けた子どもたちが入所しています。施設で安全安心な生活を提供しながら包括的性教育の実践に取り組んでいます。児童養護施設の現状と包括的性教育を中心に考えていきます。
分科会3	全世代	大分サークル	④財津聡士 ⑤高津仁美 ⑥中野久恵 	新人だった私の性教育 養護教諭として働き始めたころ、どのように性教育を始めればいいのか悩んでいましたが、学校の中にある身近なきっかけで性教育を始められることを知り、全国でもまだ少ない「男性養護教諭」としての立場を活かせる体験もしました。これらの経験を、私自身の背景を交えながらお伝えし、誰もが気軽に楽しく性教育に取り組めることをご提案いたします。

▼①形式 ②対象 ③サークル ④発表者 ⑤司会 ⑥コーディネーター

①	②	③	④・⑤・⑥	内容
模擬授業2	中高生	東京サークル	④中山航 ⑤荻野雄飛 ⑥樋上典子 	高校生と共に考える身近な「性の商品化」 「上履き売ってってDMが来た」「中学の友達は『パパ活』してた」子どもたちにとって「性の商品化」は大人が想像するよりもずっと身近な問題です。この模擬授業は、性の売買のリスクや買う側の背景、社会構造について、生徒のリアルな声を引き出しながら、大人も共に学んだ大東学園の実践報告です。
模擬授業3	小学生	大阪性教協	④多田直子 ⑤古川聖子 ⑥城英介 	戦争と子ども ～快・不快を学び、非暴力のつながりを～ 戦争は決して許してはいけない最大の暴力です。これは、低学年から積み上げてきた「性と生の学習はなぜ大切なの?」「自分も人も大切にするとつながりとは?」に引き寄せて、戦争について真剣に取り組んだ授業です。「自分たちの日常に潜む暴力に目を光らせることが大切」という気づきを友だちと共有し、「性と生の学習」でなぜ戦争を学ぶのか、非暴力で生きることが、なぜ大切なのかを自分事として考えました。
分科会4	障害児・者全世代	障害児・者サークル	④肘井理香 ⑤河村あゆみ ⑥伊藤修毅 	特別支援学校高等部の性教育実践 「これ、どう伝えたらいい?」を考える 生徒からの予想外の反応に驚きつつ、「これどう伝えたらいい?」と悩む日々の実践を共有し、皆さんのアイデアを求めます。グループトークでは、初心者を含む全員が気軽に話し合える場を提供し、「平和をつくるための包括的性教育」を沖縄で考えます。どうぞご参加ください。
分科会5	小学生	鹿児島たんぼばサークル	④二川政文 ⑤山崎眞子 ⑥北山ひと美 	豊かな性の学びができる学校へ ～からだの権利学習と性の多様性学習～ 校内研修の中で「からだの権利学習」と「性の多様性学習」の指導案づくりを行い、実際の授業を通して学校の年間指導計画に位置づけていった小学校でのとりくみの報告です。また、学級で行ったドッジボールのルールから「同意」について考えた学習の報告もします。

せいきょうきょう
性教協
って?

1982年に創立された一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）は、「科学・人権・自立・共生」の4つのキーワードをもとに、子どもの切実な要求にこたえ、正確な情報を伝え、子どもと共に「性」のあり方や生き方を考えて、たくさんの性教育実践を積み重ねてきた民間研究団体です。会員は、教員をはじめとした学校関係者、助産師・医師・看護師・保健師などの医療関係者、児童養護施設職員などの福祉関係者、NPO関係者、研究者、学生など多彩です。

学校・地域・家庭での性教育実践を創造し交流するとともに、自分自身の性と生のあり方を問い直し、形成することができる場となっています。日本で唯一の性教育専門誌『季刊セクシュアリティ』（発行：エイデル研究所）を編集しています。

全国夏期
セミナー
って?

日本で最大規模の性教育の研修会です。全国各地から持ちよった実践を積み重ねています。最新の正確な情報や現場のリアルな声に触れることもできます。全国から集まる性教育に関心のある参加者となることができるのも魅力です。性教育初心者や学生の方の参加も歓迎します。性教協会員でなくても参加できます。2日間通してではなく、1日のみや午後からなど、部分参加も可能です。

申込方法

今大会は，【会場参加用】または，【オンライン参加用】の別々のチケットをご購入いただきます。会場参加用チケットからオンライン参加用チケットへの変更は可能ですが，オンライン参加用チケットから会場参加用チケットへの変更は **初日** のみ可能です。また，初日会場参加希望で，2日目オンライン参加希望の場合は，**オンライン参加希望** より申し込みをしてください。なお，会場参加用チケットからオンライン参加用チケットへの変更を希望する場合，必ずpeatixのメールまたは **online.seikyokyo@gmail.com** にご連絡ください。

会場参加希望

以下のQRコードもしくはURLから会場参加専用peatixサイトにアクセスしてチケットをご購入ください。

コンビニ・ATM払い購入締切 **7月21日** 月

クレジット払い購入締切 **7月22日** 火



https://skk2025okinawa-2days.peatix.com/

現地両日参加

現地1日参加

https://skk2025okinawa-1day.peatix.com/



オンライン参加希望

以下のQRコードもしくはURLからオンライン参加専用peatixサイトにアクセスしてチケットをご購入ください。

コンビニ・ATM払い購入締切 **7月28日** 月

クレジット払い購入締切 **7月29日** 火



https://skk2025okinawa-zoom2days.peatix.com/

オンライン両日参加

オンライン1日参加

https://skk2025okinawa-zoom1day.peatix.com/



注意事項

- チケットご購入の際は，Peatixへの登録が必要となります。ご自身のメールアドレス，任意のパスワード，名前（ニックネーム可）を登録します。
- 購入代金のお支払いは，クレジットカード，コンビニ払い，PayPal（銀行払いができる）から選べます。支払期限を過ぎると，もう一度最初から購入手続きをする必要があります。
- 8/1には，ZoomミーティングのURL，ID・パスワードと資料ダウンロードURLを送ります。
- **昼食はお弁当をご持参ください。**
- 模擬授業・分科会は定員の都合上，ご希望に添えない場合があります。Peatixでの申し込みの先着順となりますので，お早めにお申し込みください。なお，会場参加の当日申し込みは受け付けておりますが，2日目（模擬授業・分科会）に関しては，空席のある会場へお通しすることとなりますので，あらかじめご了承ください。

一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局

〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイツ1006号

TEL：03-3379-7556 FAX：03-3379-7561

Mail：jimu@seikyokyo.org

※電話は火・木曜日の13時～16時に受け付けています。
お急ぎの場合はFAX，メールでご用件をお伝えください。



@seikyokyo



@seikyokyo_web

右の性教協HPから，
それぞれの申込サイト
へアクセスできます。



オプションツアーのご案内

2025年 8月4日 月 9:00～16:00

テーマ

リアル沖縄・ディープ沖縄 ～基地問題と県民生活～

ツアーガイド

福元 大輔 さん（沖縄タイムス政経部兼論説委員）

信州大学卒業。宮古毎日新聞で記者を務めた後、2003年沖縄タイムス入社。沖縄県警キャップ、八重山支局長、米軍基地・自衛隊問題担当などを経て、2023年から現職。

行き先

嘉手納基地 沖縄国際大学 など

募集人数

25 名 ※県外の方優先

お申し込みは以下のQRコード、またはURLから。

参加費

¥3,000（予定、当日直接お渡しください）



<https://forms.gle/mEh3RjnYt6m59Ff48>

申込期間：5月15日(木)～7月22日(火)

※オプションツアー募集は、53年目の沖縄本土復帰の日から開始します。
※定員に達し次第締め切ります。ご希望の場合はお早めにお申し込みください。

SEXUALITY

人間と性をめぐる教育と文化の総合情報誌

季刊セクシュアリティ

企画編集：“人間と性”教育研究協議会

発行：エイデル研究所

価格：1,980円（本体1,800円）

包括的性教育をより深く伝え、より広く発信する情報誌としてリニューアルしました！

★ 刊行冊数と価格が変わりました

- 年4冊(1/4/7/10月)発行
- 1冊 税込1,980円（本体1,800円）
- 年間購読料 税込7,920円（本体7,200円）

✔ リニューアルのポイント

- 包括的性教育をもっと深め、さらに豊かに
- 性教育・セクシュアリティのより深い情報提供
- 全国各地の性教育実践を報告
- 連載記事の充実化
- 読者と作り手の双方向のやり取り

📣 2025～2026年の特集テーマ ※予定

- 120号 I 2025 包括的性教育をすすめるための5つのキーワード
II 包括的性教育をたしかなものに「性教協第43回全国夏期セミナー東海大会in 静岡」報告（25年4月）
- 121号 平和をつくるための包括的性教育（25年7月）
- 122号 言語教育分野における性教育（25年10月）
- 123号 「生命（いのち）の安全教育」からからだの権利教育へプロジェクト（26年1月）
- 124号 障害児・者の性と生（26年4月）

リニューアル号は
特集2本立て！



新刊案内

[A5判 192頁・並製]【発行】エイデル研究所
【定価】2,200円(2,000円+税10%)
ISBN978-4-87168-723-2 C0036 ¥2000E

生と性 生涯の パートナーシップ 支えられて、ひとり生きる

性教育研究者 村瀬 幸浩 編著



性教育のベストセラー本『おうち性教育』の共著者が
自身のパートナーとの関係づくりの葛藤と
その克服の歩みをはじめて綴った。

序 連れ合いを亡くした日

第二章 それぞれの「生と性」の歩みをたどる

エピソードⅠ 私のセクシユアリティに

影響をもたらししたもの

エピソードⅡ 曙光―敦子さんとの出会い

エピソードⅢ 結婚はゴールではない、

スタートである

エピソードⅣ 衝撃の置手紙

エピソードⅤ 妻（敦子）が語る

私のセクシユアリティ

エピソードⅥ 生涯にわたる

セクシユアルプレジャー

第二章 私たちの歩みをふりかえる

親子座談会 「性について語る」

夫婦対談 夫婦の「リ・スタート」

「パルティーション（ときめき）」
から親密さへ

カウンセリングのとりくみ

「家族の悩み相談」への回答―敦子・幸浩

① 気に入らないとすぐ手を上げる夫

② 夫の性格が受け入れられない

③ 夫、息子と心が通わない悲しみ

④ どう生きるか決心がつかない

⑤ 定年後の夫との関係が負担

⑥ 子どもに思いが届かない苦しさ

⑦ 金銭感覚のルーズな息子

⑧ 実母への心の葛藤が解けない私

⑨ 家を出されてしまつたのでしょつか

⑩ 姑との距離のとり方に苦しむ

第三章 パートナーシップの行方

エピソードⅦ 力強い支えあればこそ

エピソードⅧ 終の住処に生きる

告別式 さいごのさつ

補章 支えられてひとり生きる

―頼る勇氣、感謝する心―

高齢、ひとり身男性へのはげまし

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	生と性 生涯のパートナーシップ 支えられて、ひとり生きる 村瀬 幸浩 編著
		部	価格2,200円(本体2,000円+税10%) ISBN978-4-87168-723-2
		氏名/団体名	
		住所 〒	
		TEL	